

この「広報ひこね」は48,200部作成し、1部当たりの単価は10円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

舟橋聖一顕彰文学賞

故舟橋聖一氏(左の写真)は、名作「花の生涯」で彦根を広く世に伝えたことから、昭和39年に名誉市民の称号が贈られました。同氏逝去後、遺族からの寄付により基金を設置し、全国から募集した優れた文学作品に賞を贈っています。

第22回 青年文学賞

応募資格 昭和54年9月7日から平成4年9月8日までに生まれた人
募集作品 小説・随筆・戯曲・評論
※400字詰め原稿用紙50枚以内(随筆は10枚以内でも可。ワープロ原稿の場合は、A4サイズ横に、40字×25行で印字し、原稿用紙換算枚数を表記する)で、縦書きとし、自作未発表のもの(同一作品部門の応募は、1人1編に限ります)

応募方法 応募作品には、部門・題名・本名(ふりがな)・住所・性別・年齢・生年月日・電話番号を書いた別紙をつけること。(学生は、学校名と学年を書くこと)
※今までに入賞(佳作は除く)した部門での応募はできません。

賞 優秀作品(1人)には賞状と舟橋聖一色紙のほか、副賞50万円、佳作(1人)には賞状と舟橋聖一色紙のほか、副賞10万円をそれぞれ授与します。

応募締切 9月7日(火)(当日消印有効)

第25回 文学奨励賞

応募資格 近畿2府4県と福井、岐阜三重の各県に在住・在学する小・中学生、高校生
募集作品 小学生の部Ⅱ作文
中学生の部Ⅱ紀行文・作文
高校生の部Ⅱ創作・随想・紀行文

※400字詰め原稿用紙30枚以内(作文に限り小学生は3〜5枚、中学生は5枚程度でも可。作文以外はワープロ原稿による応募も可。ワープロ原稿の場合は、A4サイズ横に、40字×25行で印字し、原稿用紙換算枚



数を表記する)で、縦書きとし、自作未発表のもの(同一作品部門の応募は、1人1編に限ります)

応募方法 応募作品には、部門・題名・本名(ふりがな)・住所・性別・年齢・電話番号・学校名・学年を書いた別紙をつけること
※今までに第1席に入賞した各部(小学生・中学生・高校生)での応募はできません。

賞 優秀作品には賞状と舟橋聖一色紙のほか、副賞として図書カード(小学生の部Ⅱ第1席2万円、第2席1万円、第3席5千円、中学生の部Ⅱ第1席3万円、第2席2万円、第3席1万円、高校生の部Ⅱ第1席5万円、第2席3万円、第3席2万円相当)をそれぞれ授与します。

応募締切 9月7日(火)(当日消印有効)

応募作品は返却しません。また、入賞作品の著作権は、彦根市に帰属するものとします。

応募先 〒522-0001 尾末町8-1 市立図書館内「舟橋聖一記念文庫」事務局へ郵送または持参してください。

※封筒の表に「舟橋聖一顕彰青年文学賞(または文学奨励賞)応募作品在中」と朱書きしてください。

問い合わせ先 同事務局 ☎22-0649番、FAX 26-0300番

表紙の写真

4月27日(火)、ヘルマン・ヴァン・ロンプイ欧州理事会議長(初代EU大統領・元ベルギー首相)一行が、日EU首脳会議のための来日に際して、彦根を訪問し、彦根城博物館、玄宮園を見学しました。

彦根城博物館では、玄関前でひこにゃん、赤備え甲冑を着た人たちが出迎えました。EU大統領は、俳句愛好家としても知られており、展示見学では、松尾芭蕉の弟子で蕉門十哲の一人、森川許六ゆかりの作品を見学しました。

その後、玄宮園を散策した後、鳳翔台で、お茶とお菓子が振舞われ、議長は、その場で一句詠まれました。

人口と世帯数

平成22年5月1日現在

人口	111,681人 (+74)
男	55,032人 (+56)
女	56,649人 (+18)
世帯数	43,110世帯 (+139)

()内は前月との比較